

長野便教会 会報

ひとつ捨えば ひとつだけきれいになる

令和3年10月10日(日) 第102号



1 清掃サミット、夏もオンライン開催！

おかげさまで「長野県中学校清掃サミット」も、今回で14回目を迎えました。今年2月の前回に続き、今回もオンラインでの開催となりました。9月5日(日)に行われた今回は、長野県内の10中学校(佐久穂町立佐久穂中・箕輪町立箕輪中・安曇野市立三郷中・須坂市立常盤中・須坂市立墨坂中・長野市立篠ノ井東中・長野市立更北中・長野市立豊野中・松本市立清水中・信濃町立信濃小中)に加え、県外から姫路市立四郷学院と福岡市立和白丘中学校の2校にご参加いただきました。12校での清掃サミットは、前回と同じく過去最高です。参加者は中学生が31名、先生方が27名、日本を美しくする会関係の皆さまが9名で、計67名での会となりました。

清掃をもっと楽しんでもらいたい

信濃町立信濃小中学校 教諭・山口 千絵

本日は参加させていただきまして、本当にありがとうございました。

各校の発表やグループ討議、本当にすばらしかったです。先生方、生徒の皆さん、本当にありがとうございました。生徒たちの実際の様子、今の課題、工夫点など各校の取り組みから、自分を見つめなおすことができました。

「清掃をもっと楽しんでもらいたい」と言っていた生徒さんの発表を聞いて「これだ！」と思いました。生徒にもっと清掃を楽しんでもらいたい…このことを忘れていました。

実行委員の皆さんのが活動し、県内の学校や清掃について、生徒や先生方の支えとなってくれていること、また全国に学校がさらによくなるように見守ってくれている仲間がいる。自分は一人ではないことを改めて実感しました。今日、私はたくさん元気と勇気をもらいました。本当に今日はありがとうございました。

参加した各校の生徒さんからは、以下のような感想が寄せられています。

○今回で2回目となるオンラインでの清掃サミットでした。実践発表をしてくれた四郷学院さんは使わなくなった雑巾をリペアして隅を掃除する「隅っこ棒」を作るなど、SDGsを実践していくすごいと思いました。箕輪中さんは清掃の三本柱(「かたち」「気づき」「無言」)を大切にしていました。私たちの学校もまだ課題はたくさんありますが、四郷学院さんや箕輪中さんの取り組みを参考にしたいです。(佐久穂中)

○今回、他県の人たちと意見交換ができる、とても楽しく学ぶことができました。長野県を中心とする清掃サミット参加校の清掃への取り組みがすごくて、僕の学校では放送を取り入れてみようと思います。また今年から始まった『プラス「1」清掃』や伝統である「クモの巣ゼロ」を他校と交流できたことを本当にうれしく思います。また、福岡からの参加校も増やしていくないと、僕は思いました。この活動を続けて「持続可能な社会」を目指していきましょう。(福岡・和白丘中)

○清掃サミットに参加して、四郷学院にはまだ改善すべきところがたくさんあることに気づきました。四郷学院はお掃除の後、帰りの会の前に黙想を行っていますが、長野県の中学校では黙想を清掃前にしていることを知り、驚きました。ですが、そうすることで清掃も集中して行うことができるのかと思うと、真似したいなと思いました。長野や福岡の中学生と話すことができて、より清掃を頑張ろうと思いました。また機会があれば、意見交換をしたいなと思いました。参加させていただき、ありがとうございました。(姫路・四郷学院)

○箕輪中の清掃終了5分前の啓発放送だったり、豊野中のチャイムがなくても積極的に清掃に取り組むという姿勢から、清掃への意識の高さがわかった。佐久穂中は今までもよい清掃になっていると思っていたが、まだまだ改善点があることがわかったので、これからは清掃に生かしていくたい。今日の経験を周りの人にも広め、一層清掃状況をよくしていきたい。(佐久穂中)

○もっと自分の学校でもすぐにできそうなこともあったので、さっそく取り組んでみたいと思いました。逆に、自分の学校の取り組みを評価してくれて、「今後やってみる」などと言ってもらえたことは、積極的に話し合えたからだと思うので、とてもいい結果になったと思う。グループごとに話し合うと、同じような活動だったり、違ったりして、一段と清掃への意識が高まった。(佐久穂中)

○佐久穂中からは、「三昧清掃」をできている人とそうでない人の差が大きいという課題を出しました。そうするとCグループの学校の人たちからは、生徒一人ひとりの意識を変える企画や取り組みを様々に行っていることを知りました。例えば、箕輪中の終了5分前の放送で「まだ5分ある」から「あと5分でできることやろう」と意識を変える取り組みは、一言うだけでがらりと変わるのが驚きました。四郷学院の校内新聞でSDGsの関連記事を書くというのも、佐久穂中でもできる

と感じました。三昧清掃の伝統を、よりよい方向へと向かわせるためにも、いろいろ取り入れていきたいです。(佐久穂中)

○常盤中ではなかなか私語が減らず、清掃の意識が低いのですが、他校の取り組みを聞いて学ぶことがたくさんありました。委員が赤い手ぬぐいをかぶって率先して動く箕輪中や、四郷学院の隅っこ棒など、自分たちで工夫してやっていることであれば、伝統を大切にしているところもあって、とてもよいと思いました。僕たちもオリジナルな企画や工夫を自分たちで考えて取り組むことで、清掃への意識も高まると思いました。(常盤中)

○自分の学校に足りないモチベーションを上げる活動について話が聞けて、自分も何か企画を作つてみたいと思いました。2度目の参加でしたが、前回と違うことを聞けたので楽しかったです。(篠ノ井東中)

○まず清掃の大切さを再確認できました。モチベーションを上げることで掃除の質の向上につながつて、それがさらに勉強や将来にもつながることを学べたのが大きかったです。このモチベーションについて、放送で生徒や清掃分担区をほめたり、たたえたり、賞状を授与するというのがとても参考になりました。この清掃サミットがあって、本当に良かったです。ここで学んだことを本校で活かしていきたいです。(豊野中)

○自分たちとは違うような清掃をしている学校があることにびっくりしたし、気になっていたことなども知ることができてすごくよかったです! 清掃は人生につながるなんて考えたこともなかったので、本当に素敵な会でした。今回ありがとうございました。(信濃小中)

○今回は前回に続き2回目の参加でしたが、清掃サミットはいい緊張感があり、それぞれの学校の発表する自校紹介がどれもおもしろく、参考になりそうなものばかりでした。グループ討議ではたくさんの意見や質問が出て、あっという間に感じました。どの学校も「縦割り清掃」が効果的だと言っていて、墨坂中もコロナのレベルが下がったら縦割りができるので、やってみたいと思いました。墨坂中の清掃意識向上のため、これからもいろいろなことに挑戦していきたいです。(墨坂中)

○自分たちが行おうとしている「縦割り清掃」について、話が聞けてよかったです。人数とか期間とかを参考にしていきたい。今回初めて参加して、自分の学校と違う点があったり、自分たちではできていることを課題と言っている学校に教え合ったりして、とてもいい活動だなと思った。(三郷中)

○清水中では、来月に縦割り清掃を計画しています。その時の評価方法として、前回の清掃サミットで教えていただいた三昧チェックカードを取り入れようと思っています。班ごとの意見交換も、とても参考になる話ばかりでした。清水中は無言清掃ができている人とできていない人との差があり、どうすればいいかと思っていたが、他学年との交流やポスターでよびかけるなどの意見をもらいました。いろんな方から教えていただいたことを来年にも引き継いで、清水中の清掃をさらにレベルアップさせていくように、残り数ヶ月活動していきたいと思います。(清水中)

○グループでの意見交換では、「移動中の私語」と「気づき清掃」を中心に意見を出し合いました。問題は、「黙想の目的を理解している生徒が少ないと」と「そもそも何のために清掃するのかを考えている人が少ないと」とわかりました。また、これらの問題は、先輩からの影響も問題のひとつだと考えています。だからいろいろな活動をするよりも先に、私たち3年生が更北中学校の清掃の土台となるような、手本となるような清掃をしていかなければならぬなと思いました。明日から、まず自分自身の清掃について直していきたいと思いました。(更北中)

○それぞれの学校でたくさんの案があり、企画も多く行われていて、長野県を中心とした参加各校はすごいなと思いました。「全校の清掃をよくしたい」と思っている人たちで話すグループ討議は、とても充実したものでした。私たちが委員長・副委員長でいられる時間は残り少ないですが、できることはすべてやって、後悔なく今よりももっといい箕輪中の清掃を目指していくつもりです。この度は清掃サミットに参加させていただき、ありがとうございました。(箕輪中)

こうして生徒さんの感想を読ませていただくと、各グループでは清掃に対する意識には個人差があることや、それをどう埋めていくか、そこをどう高めていくか、そんな話が主に交わされたのかなと思います。そして何より、この意見交換を通して参加した生徒さん自身の意識の高まりを感じます。2月の前回は生徒会を引き継いだばかりの2年生だった皆さんが、あれから半年が過ぎ、今回3年生になって再び参加してくれた子が多くかったです。この秋に各校で開催される文化祭が終われば、今度は自分たちが2年生への引き継ぎを迎えます。自分たちに残された時間でどんなことができるのか、まずは自分自身を問い合わせていく姿も、2月の前回よりも深まったようで、とても頼もしく感じました。今後、清掃サミットを「冬と夏の年2回開催」としていくことの価値も、ここにあるように思います。こうした生徒さんが一人でも多く育ってくれれば、長野県の、そして日本の将来は明るくなるように思います。信濃小中学校の正副委員長さんは、オンライン終了後に「お掃除したくなった」と言って、お掃除をしてから帰宅したらしいですよ。すぐ行動に移せるなんて、すごいですね。頼もしいです。

次回は、令和4年2月に開催する予定です。ご参加いただいた皆さん、そして今回も本部会場を提供してくださった篠ノ井東中学校さま、本当にありがとうございました。